加　佐

３月号
令和8年3月2日
舞鶴市立加佐中学校
https://kasa-maizuru.edumap.jp/

サキドリ事業　はじめます。

鳥の名前ではございません。「先取り」です。2030年に改訂される「次期学習指導要領」で導入が検討されている「調整授業時数制度」（各学校が教育課程・授業時間数を柔軟に配置・配分できる仕組み）を「先取り」試行して、効果検証するものです。

正式名称は文部科学省「教育課程柔軟化サキドリ研究校事業」。漢字ばかりなので、「サキドリ事業」と略しますが、この制度は加佐中が現在取り組んでいる「新しい放課後活動」の考え方と相性がいい！来年度から2年間の研究指定を受けて「生徒の主体性」「学力・非認知的能力」「部活動の地域展開」「PTA活動のスリム化」などなど、学校教育で話題になる様々を一気に進めようとしています。

サキドリ事業の特徴は、特定の教科時数を分厚くすることができる。強化したいことに時間を掛けられるのです。部活動に代わる「新しい放課後の過ごし方」として、「生徒が企画・運営する。」「司会進行する。」「ルールや面白さを人に伝える。」「地域・保護者をご招待する。」など、全校生徒で力をつけようと取り組んできました。部活動運営が難しくなっていることは以前からお伝えのとおり。でも「ブカツ」で大切にしてきた教育的意義は引き継ぎたい。「勝利を目指す！」「心身を鍛える！」という部分は地域クラブに任せるとして、「やりたいこと！に主体的に取り組む」「人に指示・説明するリーダーシップ」「楽しさ・面白さを追求する」「異年齢集団でのコミュニケーション」これらの要素を大切に、今後は曜日・時刻を固定化・定例化しようと、全員でグループ分けをして準備に取り掛かっています。実はこれまでのイベント（モルック大会や冬のほっこり会など）では、やっぱり大人がかなりの準備をしていました。これからは最低限の安全管理や時間設計は指導しつつ、子どもの企画力に委ね「不備に気づく・失敗から学ぶ」「現場での臨機応変な対応力」も身につけてほしい。

ここまで読まれた方は気づいたかもしれません（生徒は気づくかな？・・・）。実は「放課後」といいながら「授業時間内」としてカウントするんです。「放課後活動」の出発点は、舞鶴市の「部活動の地域展開」とリンクしているので、しばらくネーミングはこのまま進めるつもり（生徒が相応しい名前を考えてくれるかな？）。もうひとつ、「放課後活動の教育課程上の位置づけは？」と思われた方は鋭い！国が定める標準時数から５教科の１０％程度を「特別活動」に配分します。もちろん各教科の指導内容をやり切ることは約束し、点数も落とさない（むしろ上げたい！）。

「遊ばせているだけでは？」とならないよう全教員で鍛え育てていきます。

そこでカギとなるのが生徒たちの「やる気（motivation）」です。

「学校の楽しみ」「学校に人が集まる意味」「得意な子も苦手な子も支え合う」「地域や保護者から応援されている実感」これらが**目に見えない学力の土台**になると信じています。子どもたちにもサキドリ事業の主旨と「学ぶって何？」を話し伝えながら、一緒に進めていきたい。4月以降、保護者様への趣旨説明をいたします。ご協力ください。　　早くも3月、卒業式です。素敵な日が迎えられますように。

舞鶴市立加佐中学校　校長　阪口靖敬　教職員一同